

1. 交付金事業の名称            令和7年度原子力・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体      千葉県
3. 交付金事業の実施場所      千葉県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1)実験器具・実験材料の整備

- ・原子力・放射線の学習に関する教材の整備

ナトリウム吸光器等を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。

- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備

静電気発電実験セット、ワットチェッカー、エコハウス実験セット等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(2)施設見学の実施

- ・高エネルギー加速器研究機構・サミットウィンドパワー株式会社鹿島発電所の見学

高エネルギー加速器研究機構・サミットウィンドパワー株式会社鹿島発電所を見学し、原子力・エネルギーの学習に活用した。

(3)講演会の実施

有識者による講義及び施設解説を実施し、原子力・エネルギーの学習に活用した。

(4)教員研修の実施

なし

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費    3, 328, 255円

交付金充当額        2, 847, 665円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒の理解が促進された（深まった）と回答した割合【理解度】は、目標80%に対して実績89%だった。

- ・原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業により促進されたと回答した割合【満足度】は、目標90%に対して実績74%だった。

生徒を対象に実施したアンケートでは、実験を通して理解できた、実験で数値が変わる理由を考えるのが楽しかった、機械の仕組みに興味を持てた等の記載があり、教科書だけでなく、実験や施設見学を実施したことで理解が深まったと考えられる。